

## パネリスト プロフィール

フランシスカ・アツルクさん (ガーナ)  
ジェンダー・児童および社会保護省 課長補佐



韓国の梨花女子大学国際学修士課程（開発協力）、同 21 世紀プログラム修了（人権開発）。ガーナ経営・行政学研修機関経営学修士（税務会計）。社会的弱者の支援、女兒教育の推進に関心を抱く。専門はジェンダーと開発、会計、農業技術で、イベントや技術ワークショップの企画・開催も得意とする。ジェンダー平等や女性・子どもの権利促進のための政策の策定・実施に関与。国際プログラム・ワークショップ・セミナーに多数参加。

テ・チュム・ハックさん (カンボジア)  
女性省ジェンダー平等・経済開発局副局長



カンボジアの王立法律経済大学法学部卒業（公法専攻）。2002 年から 2005 年まで女性省ジェンダー平等部職員、2005 年から 2008 年まで女性省ジェンダー平等室室長、2008 年から 2012 年まで女性省ジェンダー平等部次長。現在は主に、国や地方政府レベルでの政策や改革プログラムにおいて、ジェンダー主流化および女性による政策決定を推進するため、女性省内の技術的調整を統括している。

アナ・クリスティーナ・カスタネダ・  
ネリオさん (エルサルバドル)  
女性の能力開発のためのエルサルバドル協会



エルサルバドルのホセ・マティアス・デルガード大学法学部卒業、ベルギーのルーヴェン・カトリック大学修士課程（環境法）修了。弁護士資格を取得して卒業後、エルサルバドルの司法当局に勤務。労働法、行政法を担当後、環境法を専門とする。女性の権利の擁護とフェミニズムへの強い思いから、2013 年よりエルサルバドルの女性機構に勤務。環境政策を通じた女性開発という、自身が興味を抱く 2 つの分野に関わる仕事に従事している。

カーンティ・ヘママレー・  
ウィジェトウンゲさん (スリランカ)  
スリランカ公共サービス委員会委員



ヒューバート・ハンフリー・フェローシップを獲得し、米国ニュージャージー州のラトガース大学・専門能力開発プログラムにおいてジェンダーに関する専門知識を習得。ジェンダーと開発の問題にも視野を広げる。公務員の採用・昇進・服務規程に関するスリランカの最高決定機関である公共サービス委員会の委員を務める。これまでに政府内の様々な要職を歴任し、開発政策の策定および主要な開発プロジェクトの実施に携わる。